



2022年10月31日

各位

会社名 株式会社ミロク情報サービス
代表者名 代表取締役社長 是枝周樹
(コード番号 9928 東証プライム市場)
問合せ先 経営管理本部長 寺沢慶志
(TEL. 03-5361-6369)

第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2022年5月13日に公表しました2023年3月期第2四半期連結業績予想と本日公表の実績値との差異について、お知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表しました2023年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期 第2四半期連結業績予想と実績値との差異 (2022年4月1日～2022年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|------------------------------------|--------|-------|-------|----------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 18,850 | 2,370 | 2,380 | 1,520 | 50.91 |
| 実績値(B) | 19,881 | 3,102 | 2,827 | 1,935 | 64.81 |
| 増減額(B-A) | 1,031 | 732 | 447 | 415 | |
| 増減率(%) | 5.5 | 30.9 | 18.8 | 27.3 | |
| (ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期) | 17,781 | 2,362 | 2,373 | 3,027 | 99.55 |

2. 2023年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|--------|-------|-------|---------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 38,800 | 4,800 | 4,800 | 2,900 | 97.13 |
| 今回修正予想(B) | 40,800 | 5,800 | 5,600 | 3,600 | 120.57 |
| 増減額(B-A) | 2,000 | 1,000 | 800 | 700 | |
| 増減率(%) | 5.2 | 20.8 | 16.7 | 24.1 | |
| (ご参考) 前期実績 (2022年3月期) | 36,597 | 4,789 | 4,771 | 4,517 | 149.78 |

3. 差異が生じた理由及び業績予想修正の理由

2023年3月期第2四半期におきましては、企業における改正電子帳簿保存法やインボイス制度対応、働き方改革への対応など、業務のデジタル化、DX化に向けたIT投資需要の高まりを背景に、中堅企業向け新ERPシステム『Galileopt DX』をはじめとする主力ERP製品の販売が好調に推移しました。併せて、各種クラウドサービスの拡販や、ERP製品の一部サブスクリプション型での提供等によりサービス収入が大きく伸長しました。その結果、売上高が業績予想を5.5%上回り、営業利益、経常利益、四半期純利益はともに業績予想を大きく上回りました。

今後の国内景気においては、新型コロナウイルスの感染対策に万全を期すことにより、経済社会活動の正常化が進む中で景気が持ち直していくことが期待されます。ただし、世界的な金融引締め等を背景とした海外景気の下振れが国内の景気を下押しするリスクとなっており、また、円安の進行や物価上昇による家計や企業への影響が懸念されるなど、未だ景気の先行きは不透明であります。

2023年3月期通期の連結業績予想におきましては、徐々に国内景気が持ち直すことを前提に、引き続き、主力ERP製品の販売やサービス収入が堅調に推移することを想定し上方修正いたしました。下期においては、社会的な課題である賃金引上げ等を考慮した従業員還元策の拡充、先行投資となる広告宣伝費の増額、関係会社業績の下振れリスク等を見込んでおります。

なお、第2四半期連結業績の親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同四半期実績より減少している理由は、前年同四半期実績において持分法適用関連会社株式の譲渡による特別利益の計上があったためです。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上